

施策・主な取組シート

基本方向		(1) 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	基本政策	2) 社会福祉の充実
(1) 施策				
名称		03 地域福祉の推進		
目標		住民同士のつながりを大切にし、生活支援や自立支援を必要とする人への支援制度を整えるとともに、市民が地域福祉を意識しながら、互いに貢献し、支え合う地域社会の構築をめざします。		
現状と課題		本市は、「ともに考え、ともに語り、ともに支え合う地域の福祉」を基本理念とする「地域福祉推進プラン」に基づき、地域住民、福祉関係者、社会福祉協議会、行政等が、互いに連携・協働し、地域の福祉に取り組んでいます。 少子高齢化による家族構成の多様化などから、ひとり親世帯や高齢者単身世帯、経済的困窮に陥る世帯の増加などにより、支えを必要とする地域住民が増える一方で、地域社会のつながりが薄れており、必要な支援が届かずに孤立する懸念があります。また、認知症や障がいなどにより、日常生活や福祉サービスの利用手続きが困難となる地域住民が増加傾向にあります。 さらに、生活保護受給世帯は年々増加傾向にあり、その困窮の程度に応じて必要な保障を行うとともに、子どもへの貧困の連鎖を断ち切るためにも、自立に向けた支援の重要性が高まっています。複合的に課題を抱える生活困窮者に対して、早期の段階で相談・支援を行うことで、課題の早期解決による自立助長を図ることが求められています。		
課題解決の方向性		日常生活における様々な生活課題に対応するために、地域コミュニティや助け合い活動の活性化や、困りごとに関する情報の収集、相談対応により、一人ひとりに対する適切な支援と自立促進に取り組めます。 複合的に課題を抱える世帯に対しては、社会保障制度や生活保護制度・生活困窮者自立支援制度等の福祉分野の垣根を越えた横断的な支援に取り組むとともに、貧困の連鎖を断ち切るために、生活困窮世帯の子どもの学習支援に取り組めます。 また、判断能力が不十分な高齢者や障がいのある地域住民が安心して暮らせるよう、成年後見制度などの利用の促進を図ります。		
(2) 主な取組				
No.1	名称	地域福祉活動の推進		
	担当課	社会福祉課		
	概要	- 福祉サービスを必要とする住民が、地域社会を構成する一員として日常生活を営み、様々な分野の活動に参加する機会が与えられる社会をめざして、社会福祉協議会などの福祉団体と連携し、地区民生委員児童委員協議会や地区社会福祉協議会などの地域福祉活動を支援します。 - 民生委員児童委員の欠員解消のため、欠員地区の自治会長等へ候補者の選任依頼や、自治会役員会等に出席し、制度や欠員状況についての説明を行います。 - 地域福祉の拠点施設である木更津市民総合福祉会館の適正な管理・運営を図ります。		
No.2	名称	生活の安定と援護		
	担当課	社会福祉課・自立支援課・子育て支援課		
	概要	- 就労の状況や心身の状態などにより、地域社会から孤立する生活困窮者に対し、状況に応じた包括的な支援を実施するため、関係機関と連携し、相談支援体制の充実を図ります。 - 相談者の家計管理の意欲を高めることを目的として、家計の状況を見える化することによる家計改善の支援や、就労体験等を通じて、日常・社会生活に向けた自立のための訓練を行うことで、相談者の就労を支援します。 - 成年後見制度に関する地域連携ネットワークの整備や中核機関の設置を目指すとともに、市民後見人の養成に取り組めます。 - 子どもの貧困に関する現状やニーズに関する調査の実施に努め、支援が必要な子どもの保護者を対象とした支援策を検討します。 - 貧困の連鎖を断ち切るため、子どもに対する学習機会の提供や、保護者に対する養育の助言を行うなど、子どもの学習支援事業の充実に取り組めます。		

No.3	名称	バリアフリーの推進			
	担当課	地域政策課・高齢者福祉課・障がい福祉課			
	概要	・高齢者や障がい者などの移動制約者を含むすべての人が、外出移動がしやすいように、関係機関等と連携し、ノンステップバスやワンステップバスの導入など、公共交通機関等のバリアフリー化を促進します。 ・利用者の利便性と安全性向上に向け、JR巖根駅のバリアフリー化の整備を図るとともに、J R 木更津駅東西自由通路に設置しているエレベーターの維持管理に努めます。			
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方	
	民生委員児童委員数	221人 H30. 3. 31現在	235人	民生委員の配置の無い地域への配置を目標とします。	
	市民後見人の受任件数	6件 H30. 3. 31現在	25件	地域住民同士が支えあう体制の整備するために、毎年4～5件の受任を見込む目標値とします。	
	ノンステップバス・ワンステップバスの導入率	85. 3% (平成30年度)	89. 50%	市内で路線バスの運行を行っているバス事業者に、バスの保有台数の確認を行い、協議した上で、目標値を設定します。この設定は、木更津市地域公共交通網形成計画に基づくものです。	